化学品の名称: FloorPro Deep cleaner RM 752
SDS整理番号: -
作成日: 2023-06-28
改訂日: 2026-09-15

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	FloorPro Deep cleaner RM 752
供給者の会社名称	ケルヒャージャパン株式会社
住所	〒222-0032　神奈川県横浜市港北区大豆戸町639番地3
電話番号	045-777-7410
電子メールアドレス	service.jp@karcher.com
緊急連絡電話番号	045-777-7410
推奨用途	床洗浄剤
使用上の制限	推奨用途以外で使用しないこと。

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類

金属腐食性化学品	区分1
皮膚腐食性/刺激性	区分1
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分1
水生環境有害性　短期（急性）	区分3

記載のない危険有害性は、区分に該当しない、或いは分類できない。

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語　危険

危険有害性情報
- 金属腐食のおそれ
- 重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷
- 重篤な眼の損傷
- 水生生物に有害

注意書き

【安全対策】
- 他の容器に移し替えないこと。
- 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
- 取扱い後は手及び接触部位をよく洗うこと。眼を触らないこと。
- 環境への放出を避けること。
- 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面/聴覚保護具を着用すること。

【応急措置】
- 飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
- 皮膚に付着した場合：汚染された衣類を直ちに全て脱ぐこと。すぐに水で数分間洗うこと。

安全データシート

吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
眼に入った場合：医療処置を受けること。
眼に入った場合：すぐに水で数分間洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
ばく露又はその懸念がある場合：すぐに救急の医療処置を受けること。
特別な処置が必要である（SDSの「4.応急措置」を見よ）。
汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。
物的被害を防止するために流出したものを吸収すること。

【保管】　施錠して保管すること。

【廃棄】　内容物/容器を国/都道府県/市町村の規則に従って廃棄すること。

GHS分類に関係しない又はGHSで扱われない他の危険有害性：本製品には、アレルギー反応を生じる可能性のあるｄ－リモネンを1%未満含有している。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別　　混合物

化学名又は一般名	ＣＡＳ番号	濃度又は濃度範囲	官報公示整理番号 化審法・安衛法
水酸化ナトリウム	1310-73-2	2～<5%	1-410
ｐ－クメンスルホン酸ナトリウム	15763-76-5	1～<5%	3-3875・4-(5)-556
α－ヒドロ－ω－［（２－プロピルヘプチル）オキシ］ポリ（オキシエチレン）	160875-66-1	1.0～<5.0%（代表値：1.5%）	7-97
ｄ－リモネン	5989-27-5	0.1～<0.25%	3-2245，7-988，8-498
備考:　労働安全衛生法の通知対象物質の濃度が幅表示の場合は、営業秘密である場合を含む。			

4. 応急措置

吸入した場合　吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
直ちに医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合　皮膚（又は髪）に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を流水又はシャワーで洗うこと。
汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。
直ちに医師に連絡すること。

眼に入った場合　眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
直ちに医師に連絡すること。

安全データシート

飲み込んだ場合	飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。 直ちに医師に連絡すること。
応急措置をする者の保護に必要な注意事項	適切な保護具（保護眼鏡、保護マスク、手袋等）を着用する。
医師に対する特別な注意事項	症状に応じた治療を行う。

5. 火災時の措置

適切な消火剤	二酸化炭素、粉末消火剤、噴霧水 大火災の場合：噴霧水、耐アルコール性泡消火剤
使ってはならない消火剤	棒状放水
火災時の特有の危険有害性	金属腐食のおそれ
特有の消火方法	危険でなければ火災区域から容器を移動する。 消火水や希釈水の流出により環境汚染を引き起こさないように注意する。
消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置	適切な保護具を着用し、可能な限り風上から行う。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	作業者は適切な保護具（8. ばく露防止及び保護措置の項を参照）を着用し、風上から作業する。 直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。 関係者以外の立ち入りを禁止する。
環境に対する注意事項	環境への放出を避けること。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	安全にできるなら漏洩を止める。 漏出物をできるだけ回収すること。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策	他の容器に移し替えないこと。 環境への放出を避けること。 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面/聴覚保護具を着用すること。
安全取扱注意事項	眼、皮膚、衣類につけないこと。粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。 取扱い後は手および接触部位をよく洗うこと。
接触回避	金属と接触させないこと。

保管

安全な保管条件	他の容器に移し替えないこと。 施錠して保管すること。

安全データシート

	耐腐食性/耐腐食性内張りのある容器に保管すること。 酸と一緒に保管しないこと。
安全な容器包装材料	元の容器でのみ保管すること。 不適切な容器包装材料：アルミニウム、鋼

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度、濃度基準値、許容濃度(ばく露限界値、生物学的ばく露指標)

管理濃度	情報無し
濃度基準値	情報無し
許容濃度	
国内規定	
水酸化ナトリウム	2 mg/m^3（最大許容濃度）
ACGIH	
水酸化ナトリウム	STEL（C）2mg/m^3
ｄ－リモネン	TWA 3ppm（DSEN）
生物学的許容値	情報無し
設備対策	局所排気装置の設置、設備の密閉化または全体換気を適正に行うことが望ましい。 作業場所ではシャワー、手洗い、洗顔設備を設け、その位置を明瞭に表示する。
保護具	
呼吸用保護具	低濃度又は短時間での使用の場合は、フィルター（A/P2）装着呼吸用保護具を着用する。 集中的又は長時間での使用の場合は、自給式呼吸用保護具を着用する。 室内の換気が十分な場合には、特に保護具の着用の必要なし。
手の保護具	耐化学薬品保護手袋（ブチルゴム製、厚さ0.7　mm、耐久時間480分（EN 374））
眼、顔面の保護具	ゴーグル型保護眼鏡（EN 166）
皮膚及び身体の保護具	耐アルカリ性の保護衣（エプロン、靴）の着用が望ましい。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態・色	緑色液体
臭い	柑橘臭
融点/凝固点	-10℃
沸点又は初留点及び沸点範囲	100℃
可燃性	可燃性なし
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界	上限界：情報無し； 下限界：情報無し
引火点	引火しない
自然発火点	自然発火しない

安全データシート

分解温度	情報無し
pH	13.3（20℃）、11～12（1%）
粘度	3.3 m･Pas（20℃）
動粘性率	情報無し
溶解度	水に対する溶解度：完全に混和する
n-オクタノール/水分配係数(log値)	情報無し
蒸気圧	情報無し
密度及び/又は相対密度	1.119g/cm³（20℃）
相対ガス密度	情報無し
粒子特性	情報無し

10. 安定性及び反応性

反応性	金属（アルミニウム）を腐食する。 酸とは強い発熱反応となる。 軽合金と反応して水素を発生する。
化学的安定性	通常の取扱いでは分解しない。
危険有害反応可能性	金属（アルミニウム）を腐食する。 酸とは強い発熱反応となる。 軽合金と反応して水素を発生する。
避けるべき条件	加熱、高温。
混触危険物質	アルカリ非耐性金属（Sn、Zn、Al等）、酸、塗料。
危険有害な分解生成物	危険な分解生成物は知られていない。

11. 有害性情報

急性毒性

経口：	製品：入手データに基づくと、分類基準を満たしていない ｐ－クメンスルホン酸ナトリウム： ラット　LD_{50}>5000 mg/kg（OECD TG 401）
経皮：	製品：入手データに基づくと、分類基準を満たしていない ｐ－クメンスルホン酸ナトリウム： ウサギ　LD_{50}>2000 mg/kg
吸入：	入手データに基づくと、分類基準を満たしていない
皮膚腐食性/刺激性	製品：区分1 pH（20℃）：13.3
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	製品：区分1 pH（20℃）：13.3
呼吸器感作性	入手データに基づくと、分類基準を満たしていない
皮膚感作性	製品：入手データに基づくと、分類基準を満たしていない ｄ－リモネン：区分1
生殖細胞変異原性	入手データに基づくと、分類基準を満たしていない

安全データシート

発がん性	入手データに基づくと、分類基準を満たしていない
生殖毒性	入手データに基づくと、分類基準を満たしていない
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	入手データに基づくと、分類基準を満たしていない
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	入手データに基づくと、分類基準を満たしていない
誤えん有害性	入手データに基づくと、分類基準を満たしていない
その他	本製品には内分泌かく乱を生じる物質は含有されていない。

12. 環境影響情報

生態毒性	水生環境有害性　短期（急性）： 製品：区分3 水酸化ナトリウム：区分3 魚類（Gambusia affinis）　LC_{50}（96hr)=125 mg/L 甲殻類（Daphnia magna）EC_{50}（48hr)＝76 mg/L 甲殻類（Ceriodaphnia dubia）EC_{50}（48hr)＝40.4 mg/L ｐ－クメンスルホン酸ナトリウム：区分に該当しない Oncorhynchus mykiss　LC_{50}（96hr）＞100 mg/L Daphnia magna　EC_{50}（48hr）＞100 mg/L Pseudokirchneriella subcapitata　EC_{50}（96hr）＞100 mg/L α－ヒドロ－ω－［（２－プロピルヘプチル）オキシ］ポリ（オキシエチレン）：区分2 魚類（Oncorhynchus mykiss）　LC_{50}（96hr)>10～100 mg/L 甲殻類（Daphnia magna）EC_{50}（48hr)>1～10 mg/L ｄ－リモネン：区分1 水生環境有害性　長期（慢性）　： 製品：区分に該当しない ｄ－リモネン：区分1
残留性・分解性	製品：COD=113000 mg/L
生物蓄積性	情報無し
土壌中の移動性	情報無し
オゾン層への有害性	モントリオール議定書の付属書に列記された規制物質を含有しない。
その他	本製品には内分泌かく乱を生じる物質は含有されていない。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	内容物/容器を国/都道府県/市町村の規則に従って廃棄すること。 都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。

安全データシート

汚染容器及び包装	容器は、内容物を完全に除去した後、リサイクルするか、国/都道府県/市町村の規則に従って廃棄すること。 容器及び包装等をリサイクルする場合は、ヒトの健康、安全及び環境への影響に十分配慮すること。

14. 輸送上の注意

国連番号	1719
品名（国連輸送名）	CAUSTIC ALKALI LIQUID, N.O.S. (Contais sodium hydroxide)
国連分類	8
容器等級	III
海洋汚染物質	非該当
輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策	運搬に際しては容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。移動時にイエローカードの保持が必要である。
国内規制	陸上輸送：消防法、労働安全衛生法、毒物及び劇物取締法等に該当する場合は、それぞれの該当法律に定める運送方法に従うこと。 海上輸送：船舶安全法に定めるところに従うこと。 航空輸送：航空法に定めるところに従うこと。
緊急時応急措置指針番号	154

15. 適用法令

化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律（化審法）	優先評価化学物質 α－ヒドロ－ω－［（２－プロピルヘプチル）オキシ］ポリ（オキシエチレン）
特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律（化管法）	第一種指定化学物質 α－ヒドロ－ω－［（２－プロピルヘプチル）オキシ］ポリ（オキシエチレン）（政令名称：アルファ－アルキル－オメガ－ヒドロキシポリ（オキシエチレン）（アルキル基の炭素数が９から１１までのもの及びその混合物であって、数平均分子量が１，０００未満のものに限る。））
労働安全衛生法（安衛法）	名称等を表示すべき危険物及び有害物 規則別表第2の1122　水酸化ナトリウム（政令名称：水酸化ナトリウム（令和7年4月1日施行）） 名称等を通知すべき危険物及び有害物 規則別表第2の1122　水酸化ナトリウム（政令名称：水酸化ナトリウム（令和7年4月1日施行）） 規則別表第2の2220　ｄ－リモネン（政令名称：ｄ－リモネン（令和7年4月1日施行）） 腐食性液体

安全データシート

	皮膚等障害化学物質 水酸化ナトリウム
毒物及び劇物取締法（毒劇法）	非該当
大気汚染防止法	法第2条第4項　ｄ－リモネン 揮発性有機化合物（ＶＯＣ）
水質汚濁防止法	政令第3条の3第6号　水酸化ナトリウム　指定物質
船舶安全法	腐食性物質
航空法	腐食性物質
海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律	有害液体物質Y類　水酸化ナトリウム溶液
消防法	非該当

16. その他の情報

参考文献
- JIS Z 7252：2025
- JIS Z 7253：2025
- 許容濃度等の勧告(日本産業衛生学会)
- ACGIH
- 原料メーカーSDS

記載内容の問い合わせ先
ケルヒャー ジャパン株式会社
住所：〒222-0032 神奈川県横浜市港北区大豆戸町639 番地3
電話番号：045-777-7410
FAX番号または電子メールアドレス：service@jp.kaercher.com
緊急連絡電話番号：045-777-7410

声明：本SDSは、現時点で入手出来る資料、情報、データに基づいて作成しておりますが、情報の正確さを保証するものではありません。すべての化学品には未知の有害性がありうるため、取扱には細心の注意を払ってください。